フェラーリ330 P4をつくる

Ferrari 330 P4

PACK
4



DeAgostini
COLLECTIBLES

フェラーリ330 P4をつくる

Ferrari 330 P4



CONTENTS

PACK 4

STAGE 11
左側ヘッドと吸気フランジ、スパークプラグとプラグコード — 41

STAGE 12
ディストリビューターと左側バルブカバー — 45

STAGE 13
インジェクターとマニホールド、
コンポーネントスロットルバルブ — 49

STAGE 14
吸引システムとタンクサポート — 53

STAGE 15
タンクとマニホールド — 57

CENTAURIA

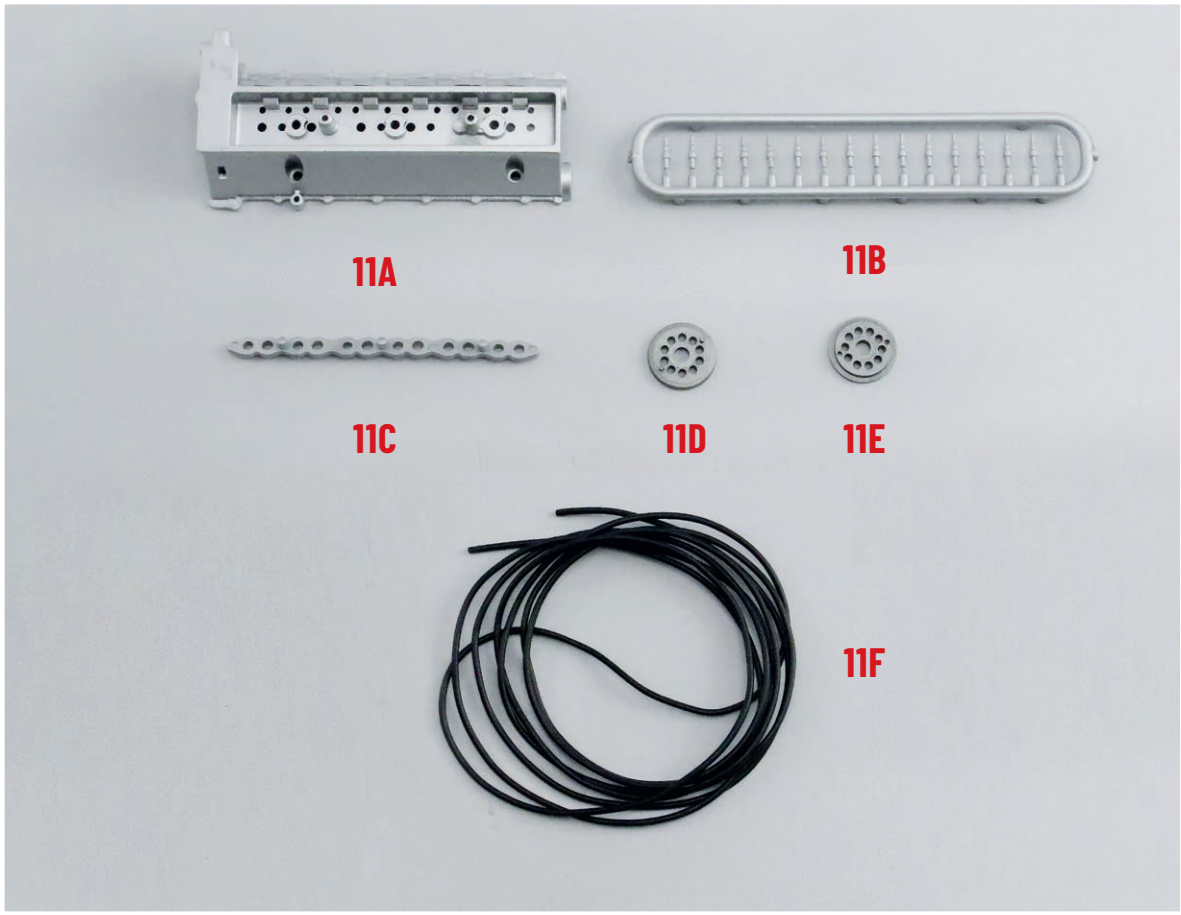
© 2023 Centauria Editore S.r.l. – Via G. Daimler, 1 – 20151 Milano

Produced under license of Ferrari S.p.a. The name FERRARI, the PRANCING HORSE device, all associated logos and distinctive designs, including the design of the Ferrari cars, are property of Ferrari S.p.a.



STAGE 11

左側ヘッドと吸気フランジ、スパークプラグとプラグコード



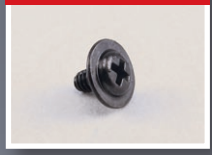
パーツリスト

- 11A エンジン左側ヘッド
- 11B スパークプラグ
- 11C 吸気マニホールドフランジ
- 11D プーリー No.1
- 11E プーリー No.2
- 11F スパークプラグケーブル

ネジ類

UM 1.7 x 5㎜ フランジ付きヘッドボルト 1本（＋予備）

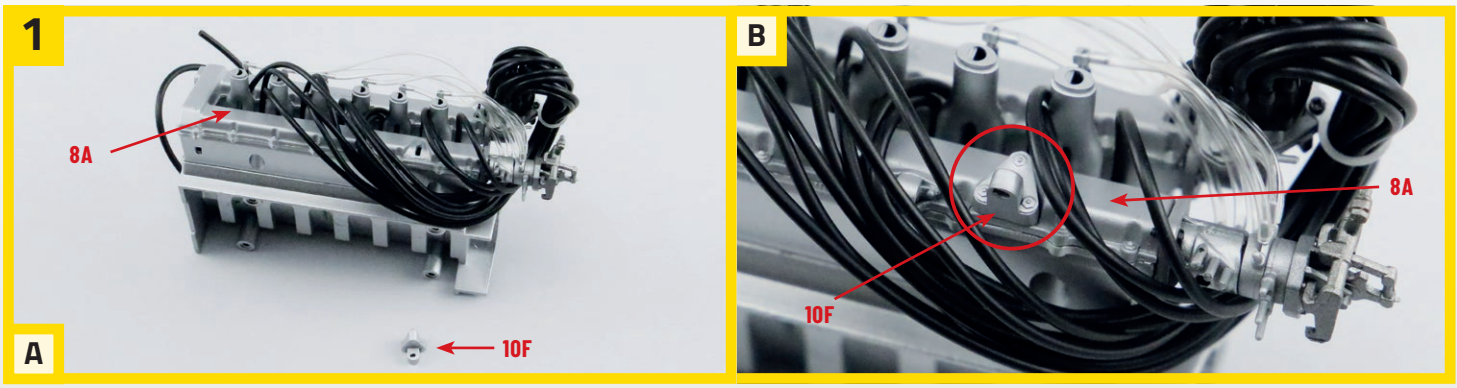
UM ネジ2本



注：「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

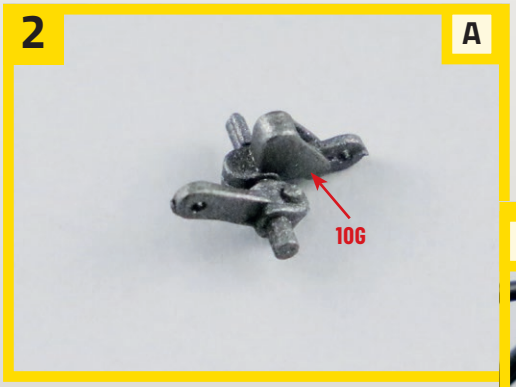
※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

Ferrari 330 P4



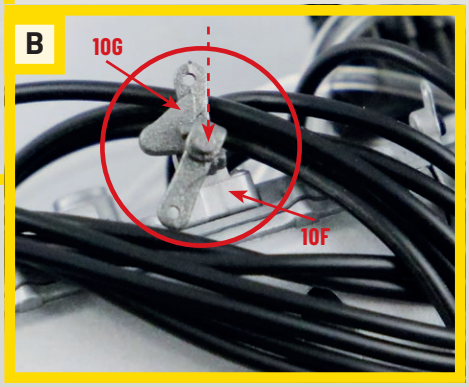
1. **A**：**STAGE10**で保管しておいたパーツを用意し、右側エンジンの組み立てを続ける。

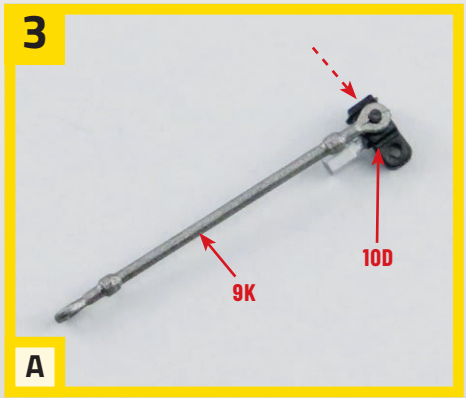
B：バタフライバルブ／噴射ポンプ用ロッドサポート**10F**を、右側のバルブカバー**8A**の所定の位置に押し込み固定する。



2. **A**：レバー**10G**を用意する。

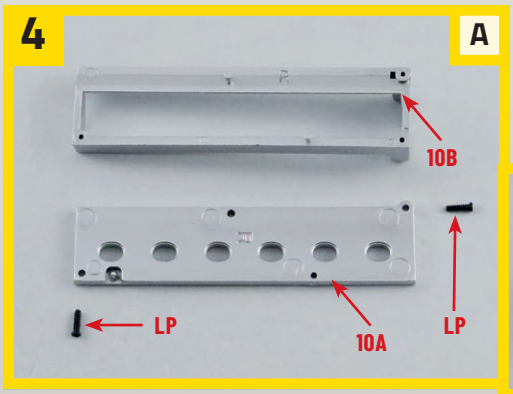
B：ピンを**10F**の穴に挿入し、写真のように向きを合わせる。

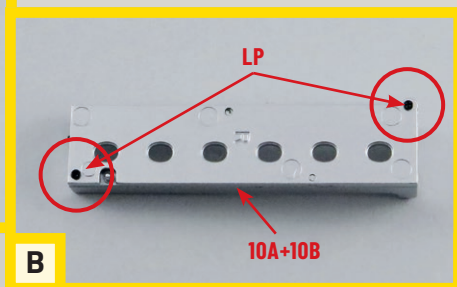


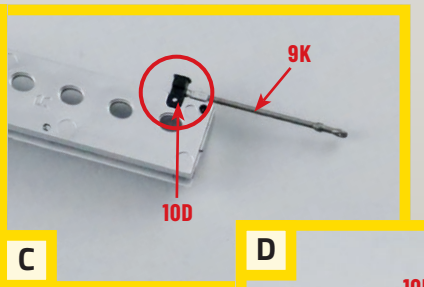


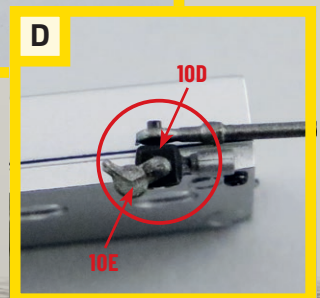
3.

A：インジェクションポンプ制御用リンクロッド**9K**をジョイント制御ベース**10D**に接続する。









4.

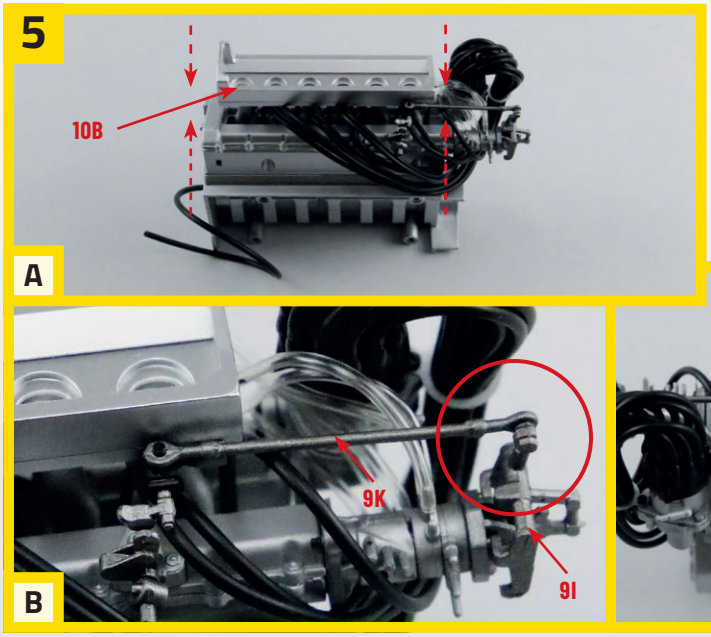
A：吸引用トランペットベース**10A**、吸引用ボックス**10B**、**LP**タイプネジ2本を用意する。

B：**10A**を**10B**に押し込み、所定の位置に合わせて2本の**LP**ネジで固定する。

C：**10A**の写真で示したピンに、（**9K**ロッドが付いている）**10D**を取り付ける。

D：**10D**の穴に、ジョイント**10E**のピンを差し込む。



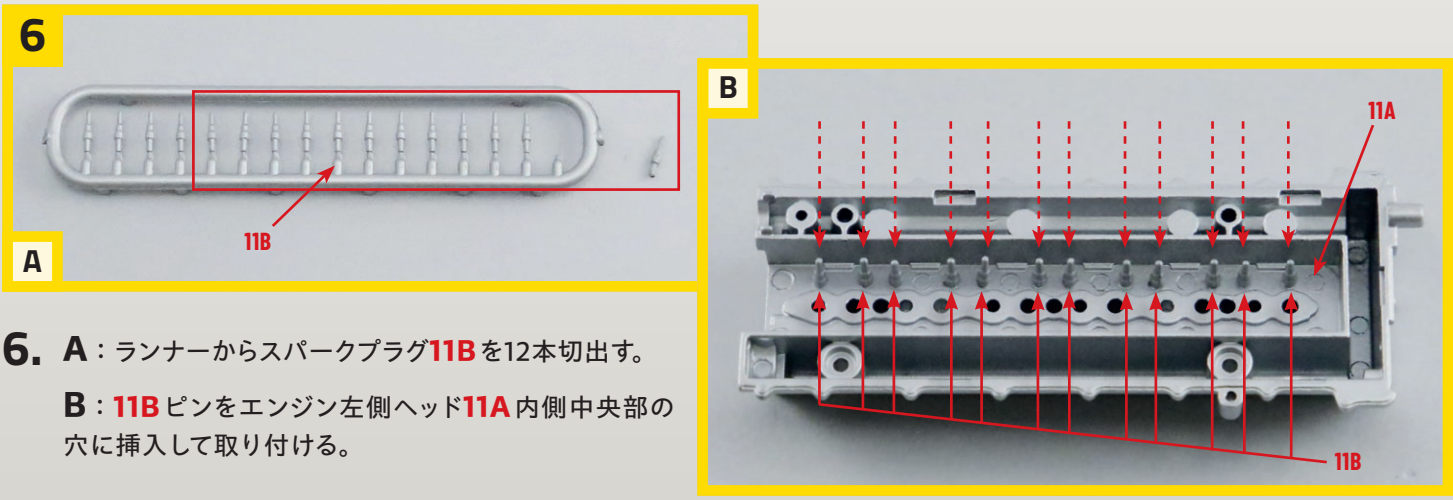


5.

A：**10B**を右エンジンブロックに配置し、吸気マニホールドを対応する穴にはめる。

B：**9K**の端を**9I**に固定する。

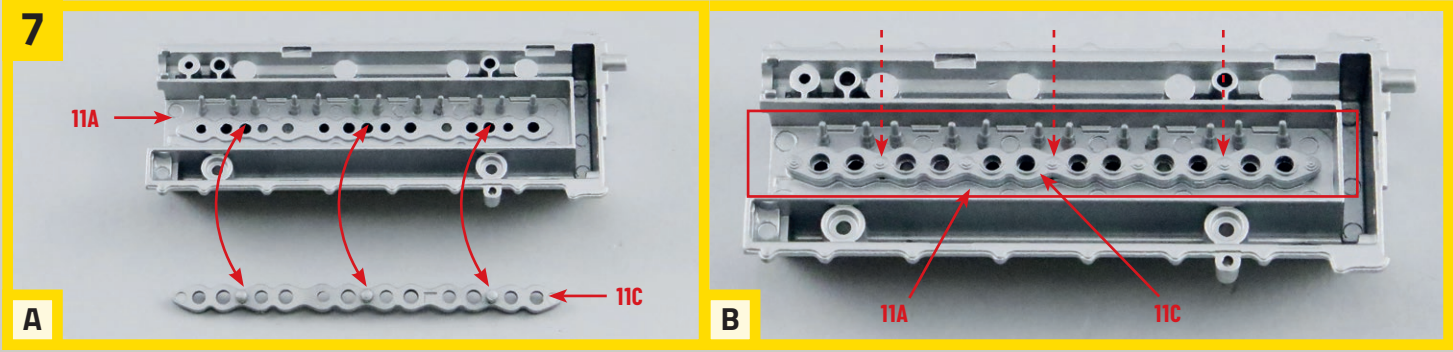
C：6個の吸気用トランペット**10C**を押し込んで固定させる。写真の6番の位置に付けた**10C**だけが、向きが少し違うことを確認する。



6.

A：ランナーからスパークプラグ**11B**を12本切出す。

B：**11B**ピンをエンジン左側ヘッド**11A**内側中央部の穴に挿入して取り付ける。



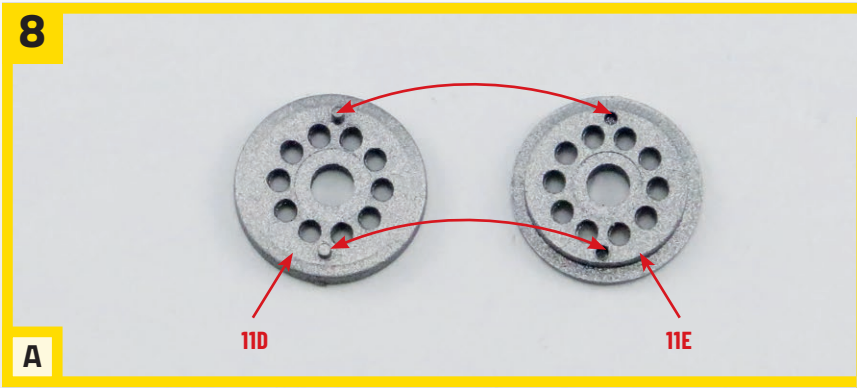
7.

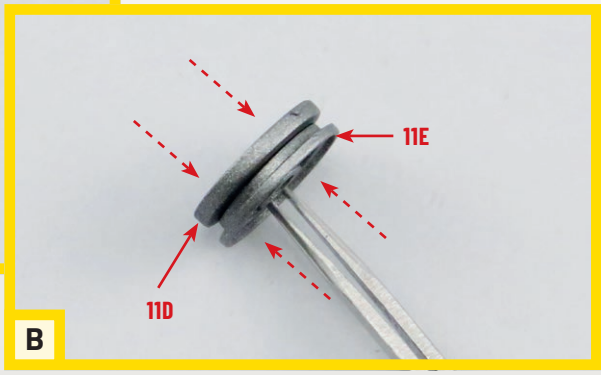
A：吸気マニホールドフランジ**11C**を用意し、**11A**の内側に配置する。

B：**11C**内側にある3本のピンを対応する穴に挿入して取り付ける。



8

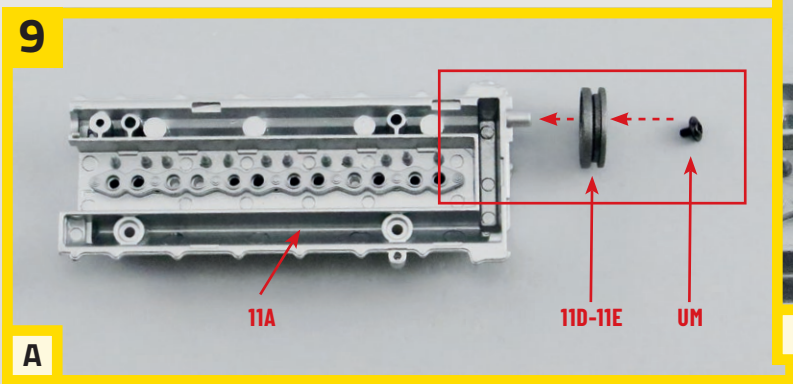


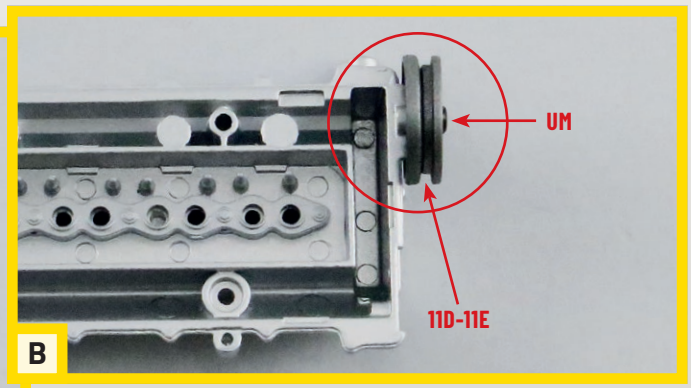


8. **A**：プーリー No.1 **11D** のピンをプーリー No.2 **11E** の穴に合わせる。

B：双方を押し込んで取り付ける。

9



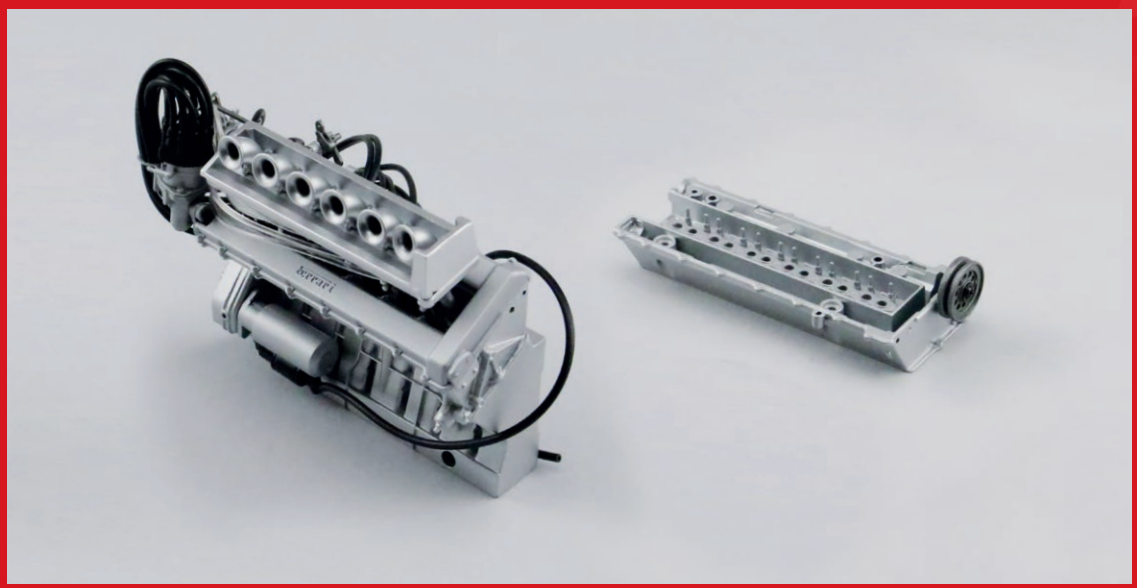


9. **A**：**11D-11E**（**11D** 部分が内側を向くように）を**11A** 端にある穴付きピンにはめ込む。

B：**UM** ネジで**11D-11E** が自由に回転できる程度に固定する。

組み立て結果

※スプリング**10H** と、スパークプラグ**11F** は後の **STAGE** で使用するので、無くさないように大切に保管しておく。

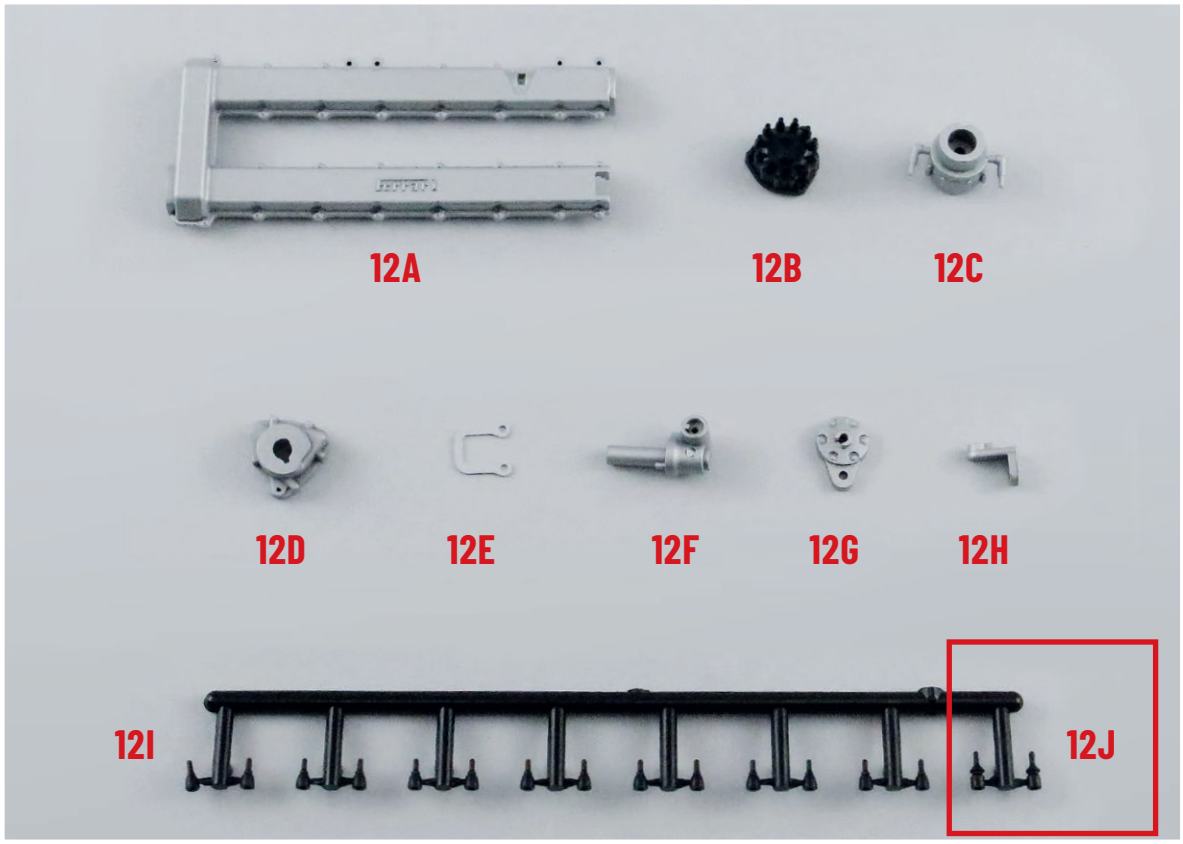


2つのエンジンヘッドがここまで組みあがった。



STAGE 12

ディストリビューターと左側バルブカバー



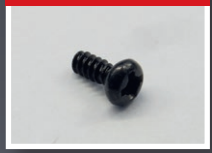
パーツリスト

- 12A 左側バルブカバー
- 12B ディストリビューターカバー
- 12C ディストリビューターボディ
- 12D ディストリビューターベース
- 12E ケーブルガイド
- 12F ディストリビューターシャフト
- 12G ディストリビューターサポート
- 12H ディストリビュータープレート
- 12I スパークプラグケーブルピペット
- 12J コイルケーブルピペット

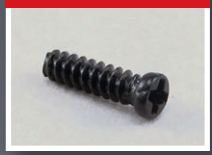
ネジ類

- APM 1.7×4㎜ネジ4本(+予備)
- LP 1.4×5㎜ネジ1本(+予備)
- MP 1.7×4㎜ネジ2本(+予備)
- AM 1.7×4㎜ネジ1本(+予備)

APM ネジ4本



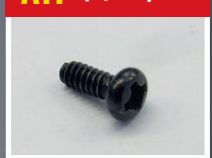
LP ネジ1本



MP ネジ2本



AM ネジ1本



注:「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

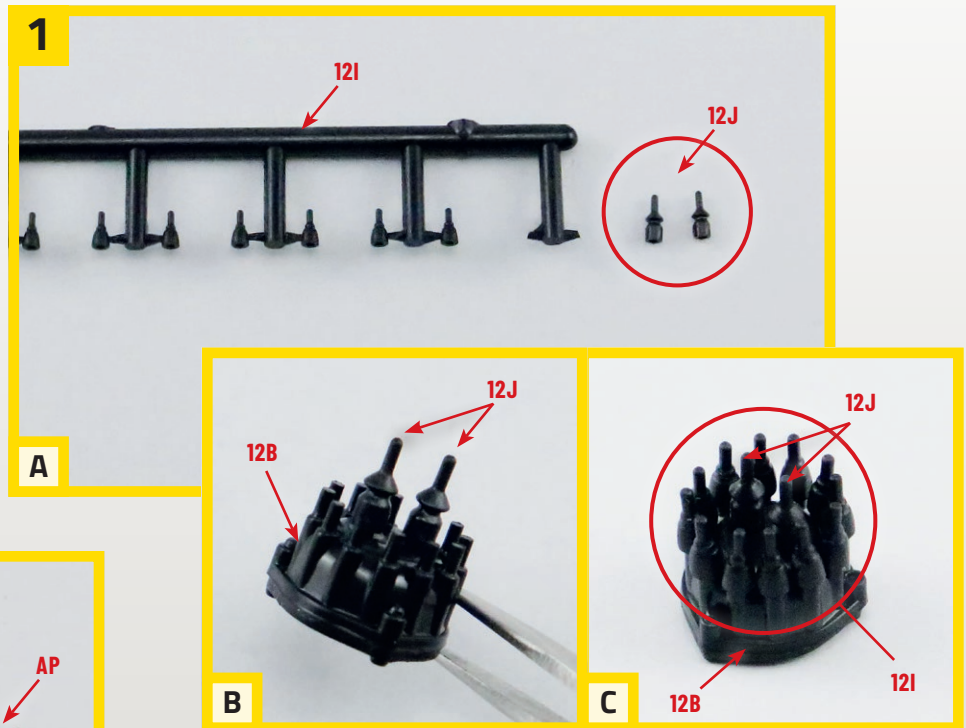
Ferrari 330 P4

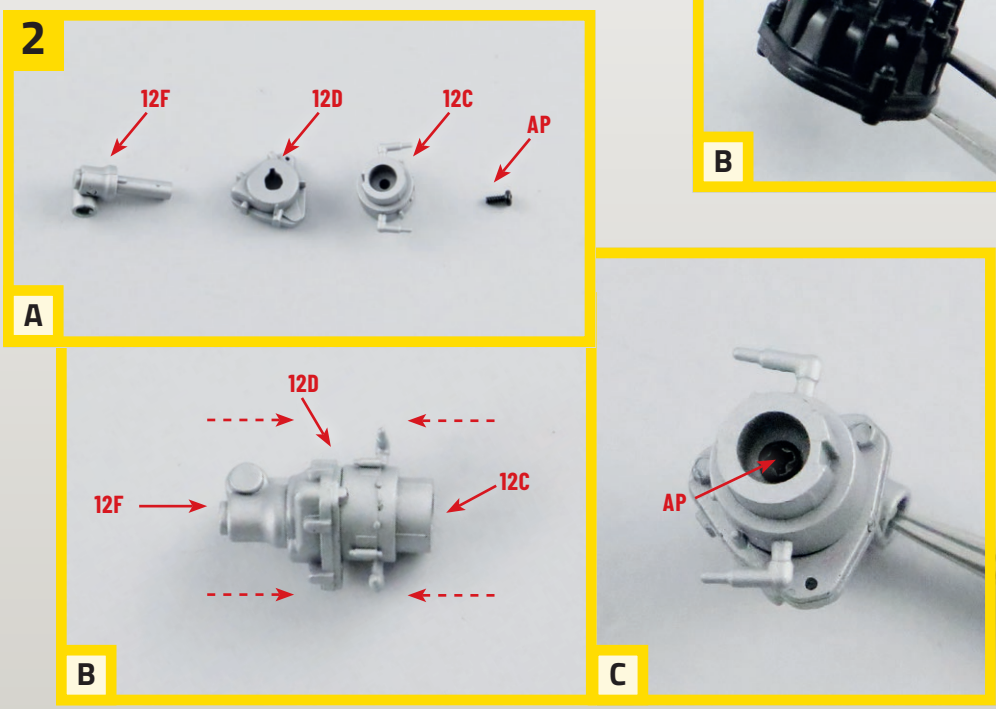
1.

A：ランナーから2本のコイルケーブルピペット**12J**を切り外す。これらは、スパークプラグケーブルピペット**12I**より長いので区別できる。

B：次に、ディストリビューターカバー**12B**中央のピンに押し込む。

C：ランナーから12本の**12I**を切り外し、**12B**の縁に沿って配置された12本のピンに押し込む。



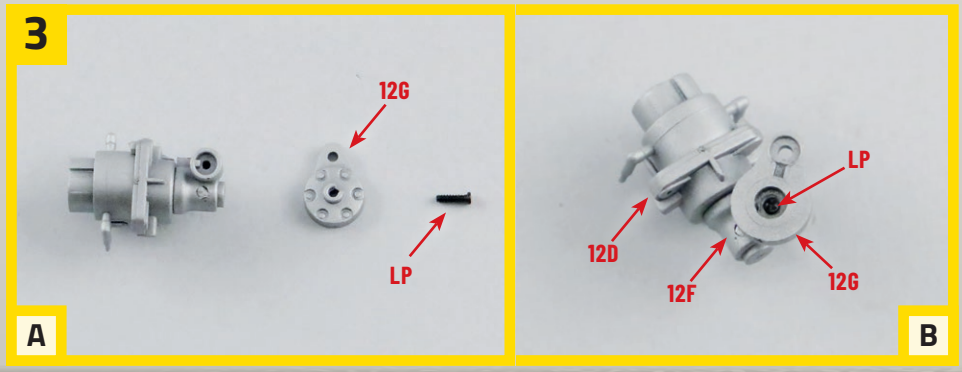


2.

A：ディストリビューターシャフト**12F**、ディストリビューターベース**12D**、ディストリビューターボディ**12C**、**AP**ネジを用意する。3つのパーツには、互いに正しく位置合わせするための歯と溝が刻まれている。

B：写真のように、順序よく挿入し、各パーツを取り付ける。

C：最後に、**AP**ネジで 固定する。

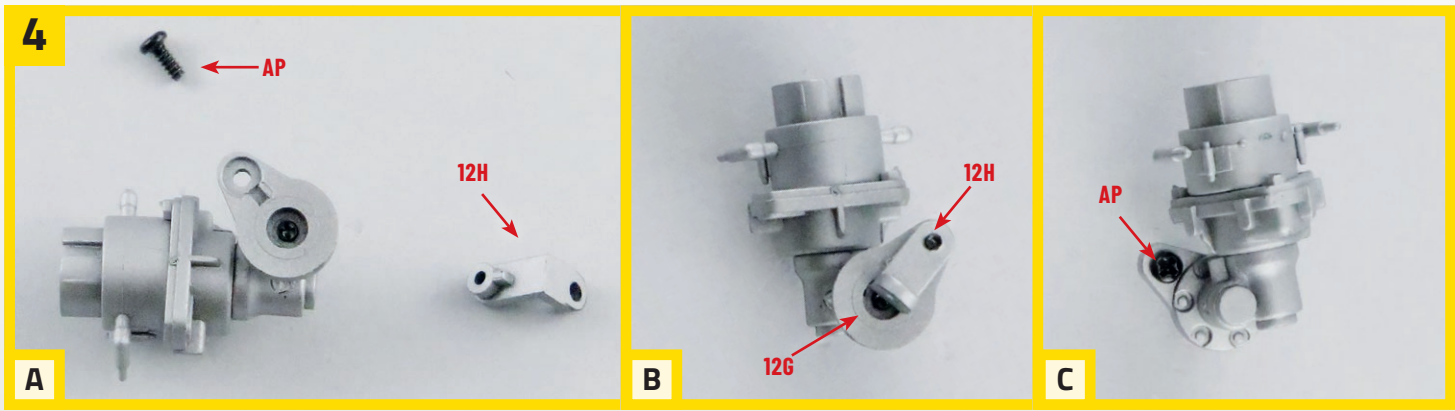


3.

A：ディストリビューターサポート**12G**と**LP**ネジを用意する。

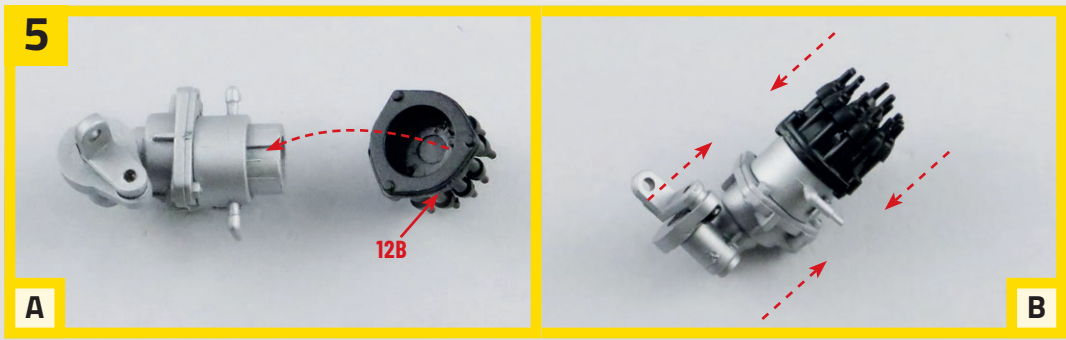
B：**12F**と**12G**を組み合わせ、**LP**ネジで固定する。





4. **A**：ディストリビュータープレート**12H**と**AP**ネジを用意する。　**B**：**12H**を**12G**に組み合わせる。

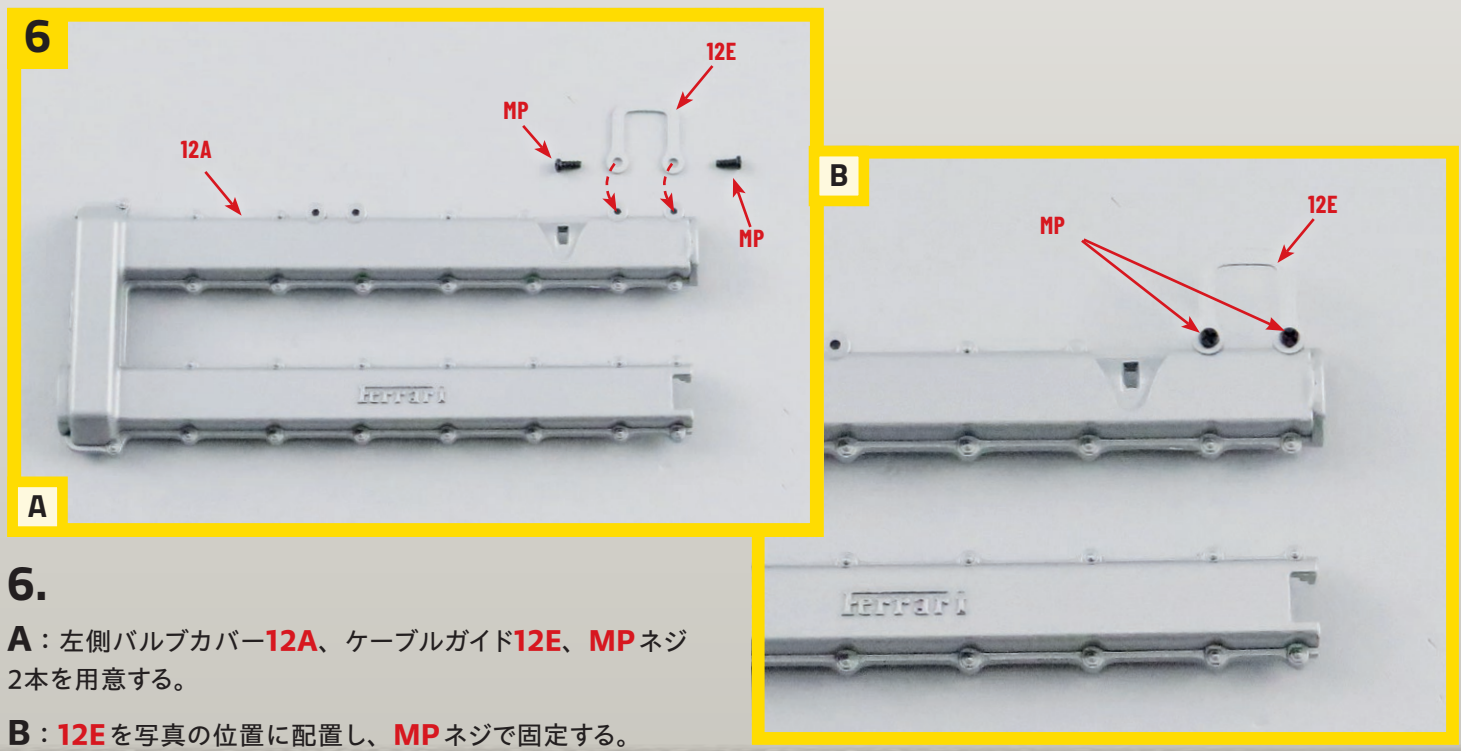
C：**AP**ネジで固定する。



5.

A：**12B**の歯と**12C**の溝が合うように、正しい向きを確認する。

B：しっかりと押し込む。



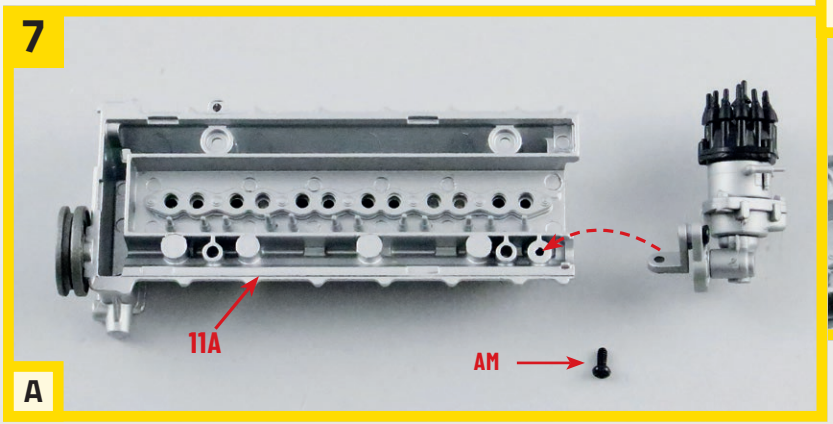
6.

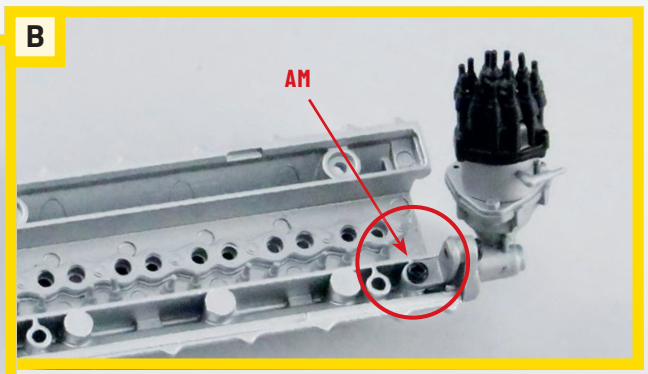
A：左側バルブカバー**12A**、ケーブルガイド**12E**、**MP**ネジ2本を用意する。

B：**12E**を写真の位置に配置し、**MP**ネジで固定する。

7. **A**：**11A**と、これまでに組み立てたディストリビューター、さらに**AM**ネジを用意する。

B：ディストリビュータープレートの穴を左ヘッド縁にある穴に合わせ、**AM**ネジで固定する。



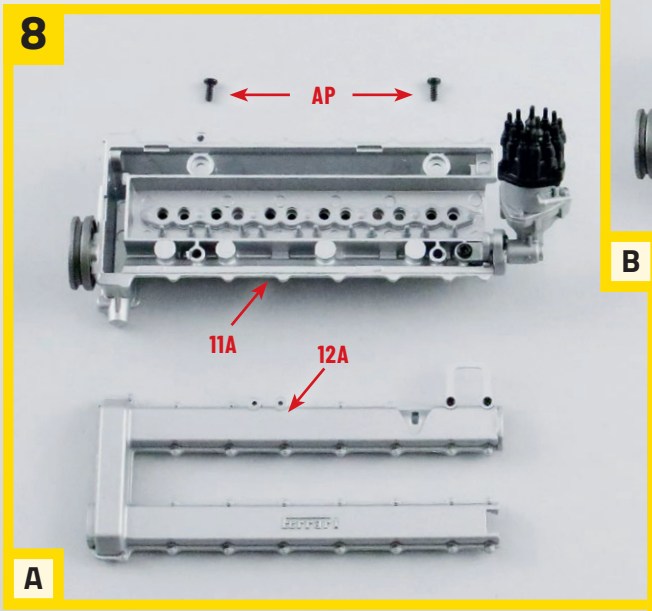


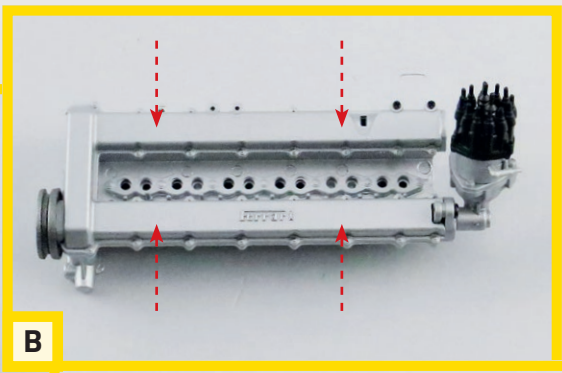
8.

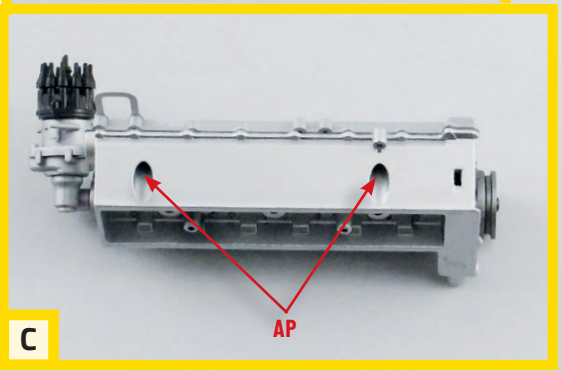
A：**12A**と**11A**、2本の**AP**ネジを用意する。

B：**12A**を**11A**に押し込む。

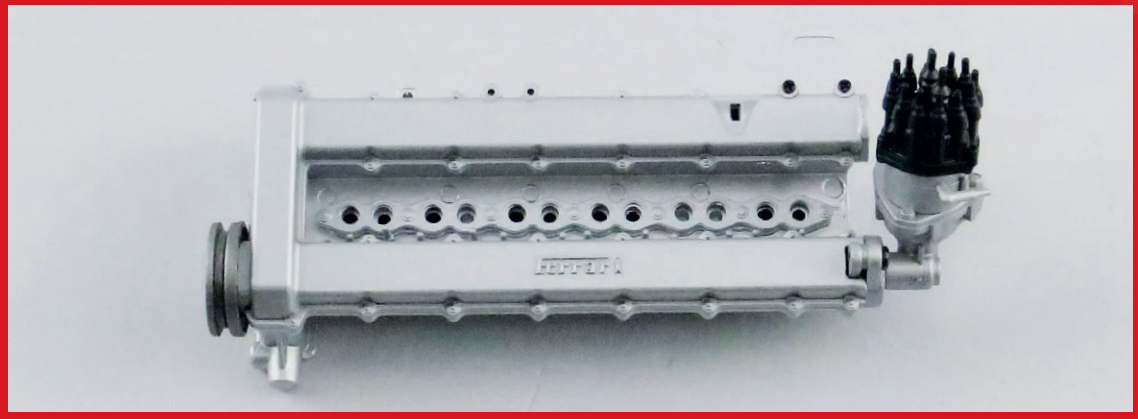
C：ヘッド側面の2つの穴に**AP**ネジを締め付けて固定する。







組み立て結果

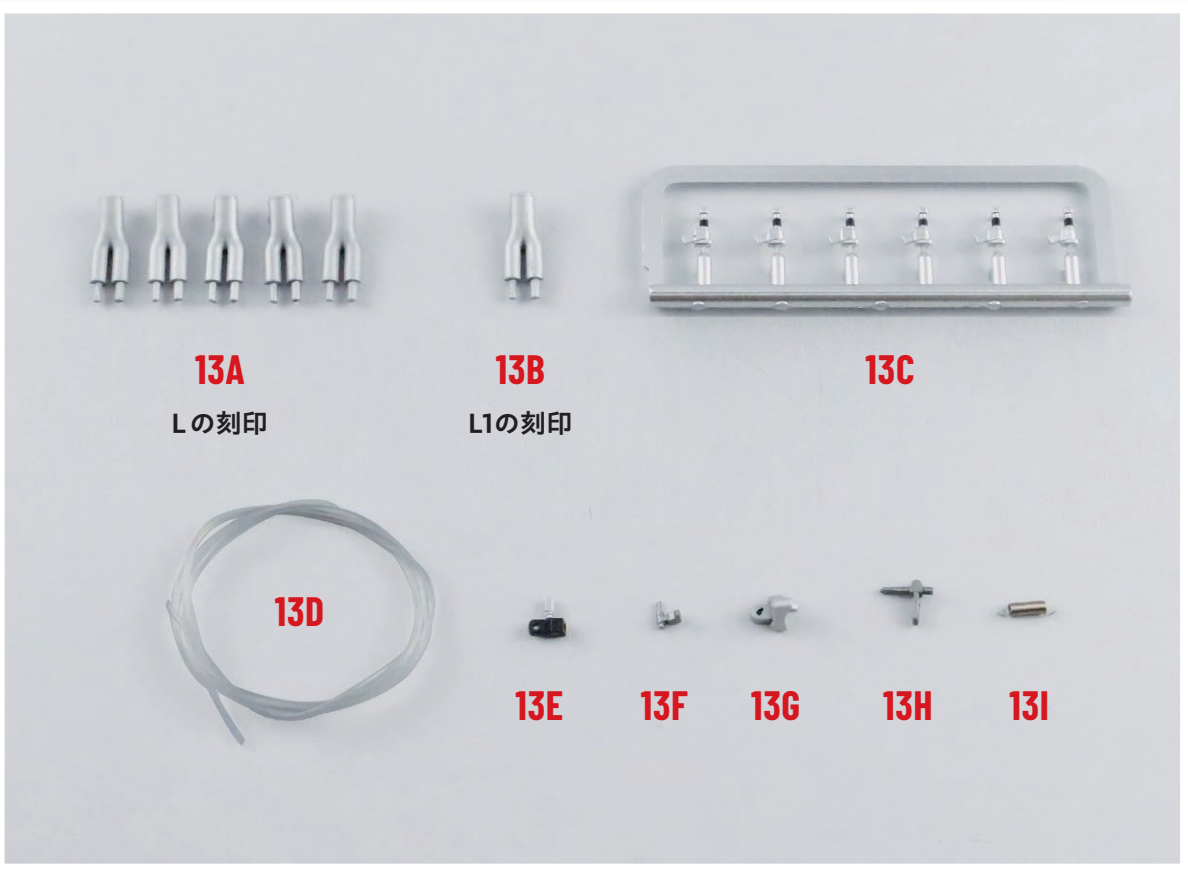


左エンジンヘッドがここまで組みあがった。



STAGE 13

インジェクターとマニホールド、コンポーネントスロットルバルブ



パーツリスト

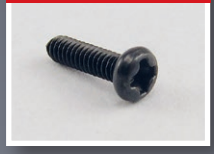
- 13A L型吸気マニホールド
- 13B L1型吸気マニホールド
- 13C インジェクター
- 13D インジェクター用チューブ
- 13E ジョイント制御ベース
- 13F ジョイント
- 13G バタフライ／ポンプサポート インジェクション
- 13H レバー
- 13I スプリング

ネジ類

- ABM 1.7×6㎜ネジ2本（＋予備）

※これらのパーツは今回は使用しない。次回の組み立て作業まで大切に保管しておこう。

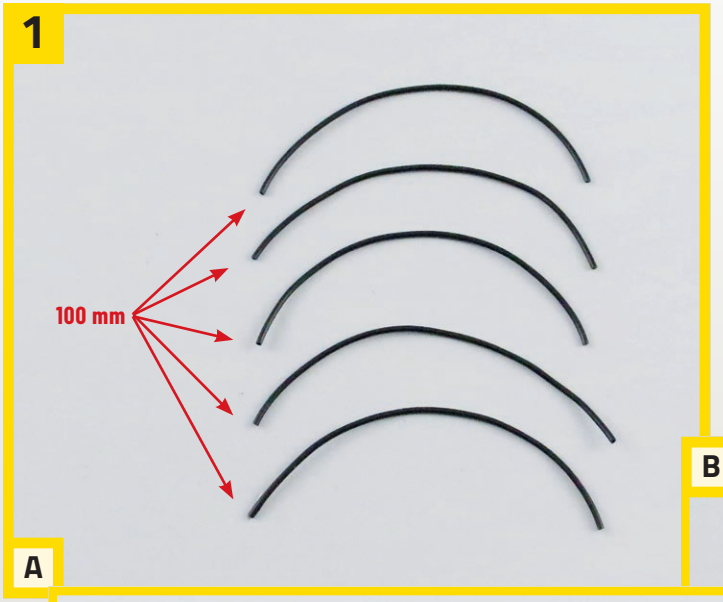
ABM ネジ2本



注：「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

Ferrari 330 P4

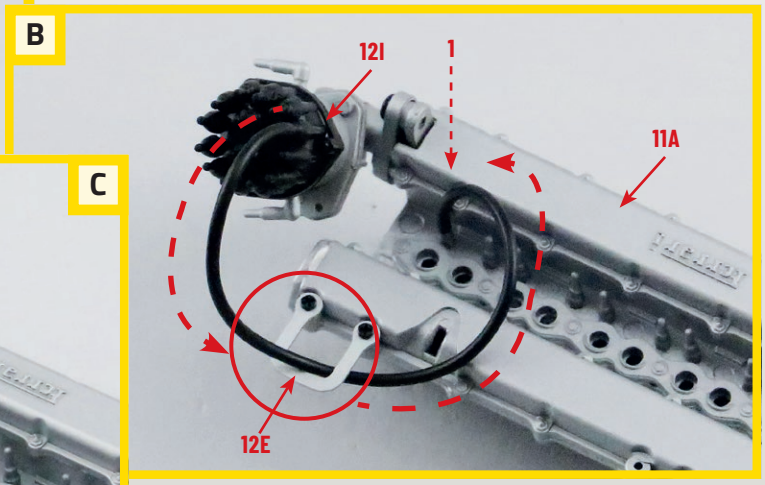


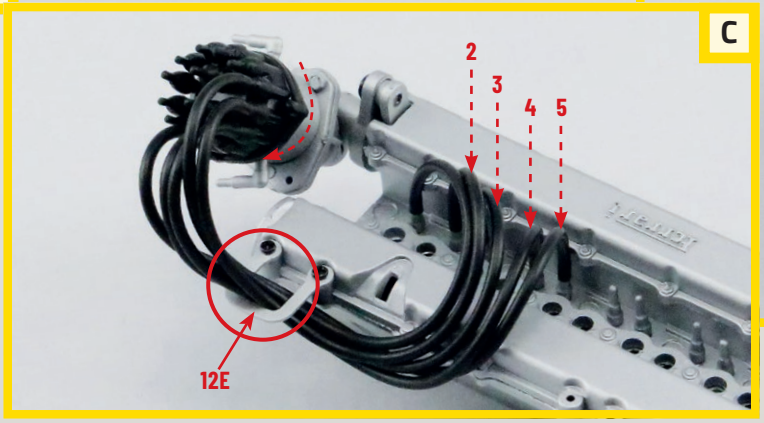
1.

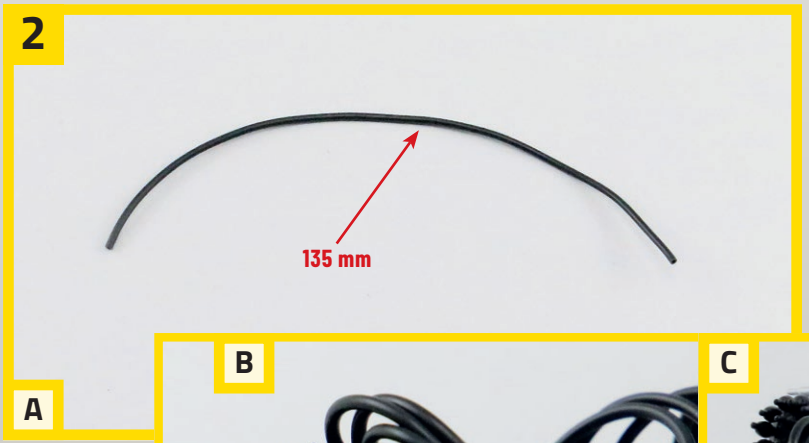
A：スパークケーブル**11F**から、長さ100㎜に5本のケーブルを切り出す。

B：1本目の一端を、写真のように、**12I**のピペットにはめ込む。次に、もう一方を**12E**に通してスパークプラグの最も近いプラグに 固定する。

C：残り4本も、一端を4つのピペットに時計回りにはめ込んでいく。もう一端は**12E**に通し、それぞれ2番目～5番目のプラグに順番に固定していく。





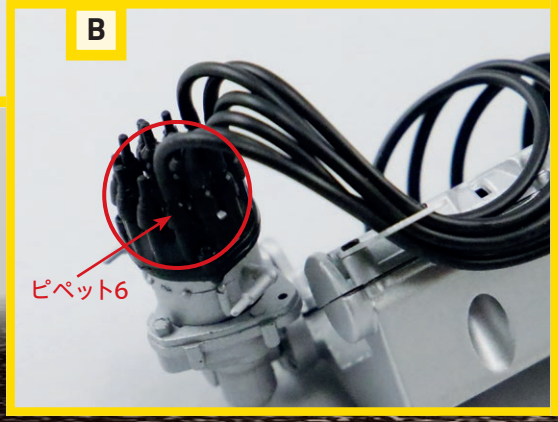


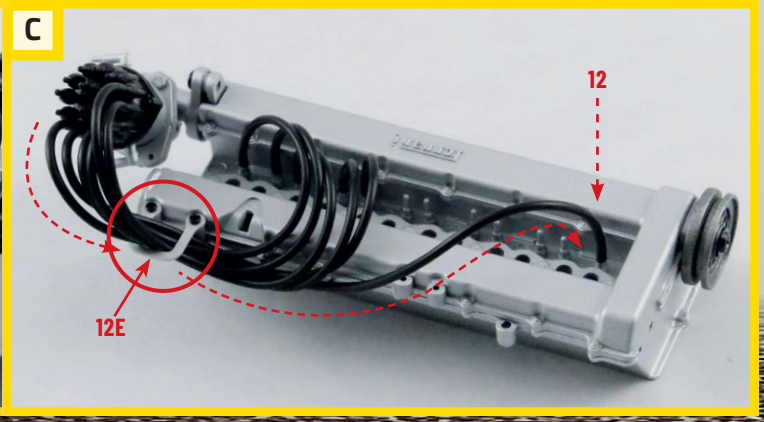
2.

A：**11F**から135㎜に1本のケーブルを切り出す。

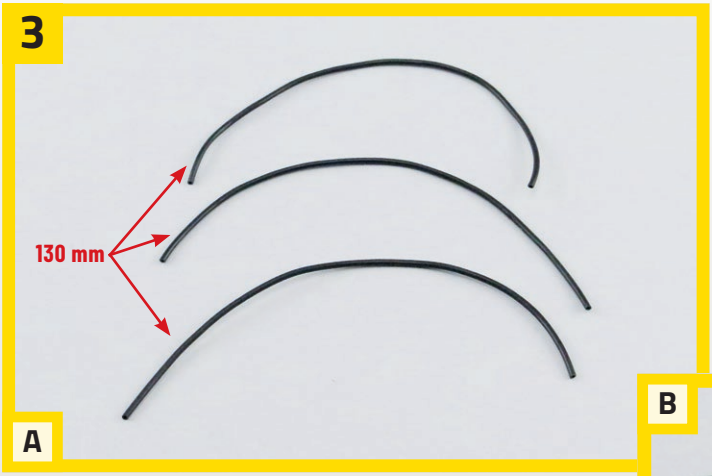
B：次に、**STEP1**と同様、一端を6番目のピペットにはめ込む。

C：もう一端は、**12E**を通して、12番目のスパークプラグに接続する。





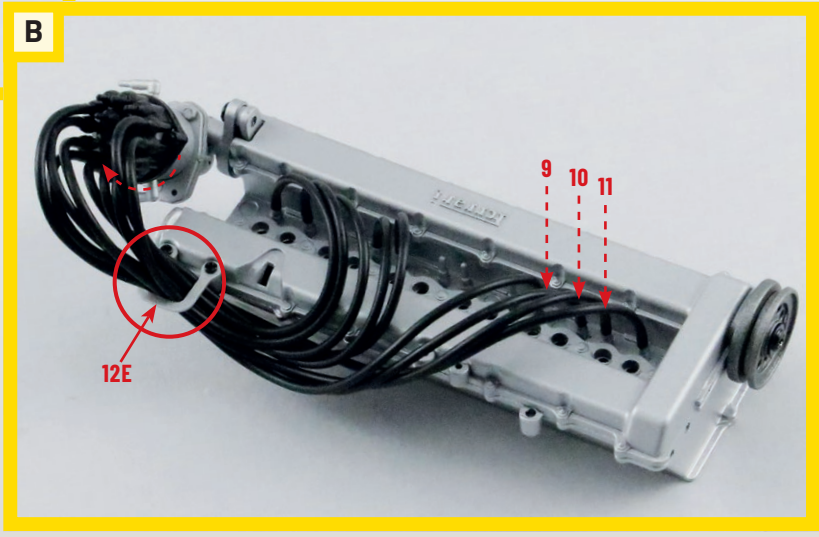




3.

A：**11F** から長さ130㎜に3本のケーブルを切り出す。

B：すべて**12E**を通して、順に7番目のピペットを11番目のスパークプラグに、8番目のピペットを10番目のスパークプラグに、9番目のピペットを9番目のスパークプラグに接続する。



チェックポイント!

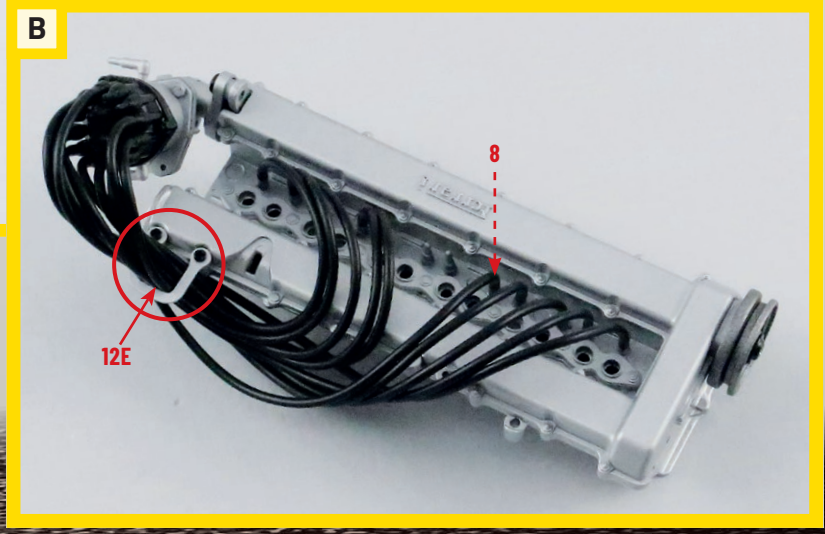
スパークプラグに点火プラグのケーブルを正しい順序で接続するには、固定する前に、52ページのリストを確認しよう。



4.

A：**11F** から長さ 125㎜に1本のケーブルを切り出す。

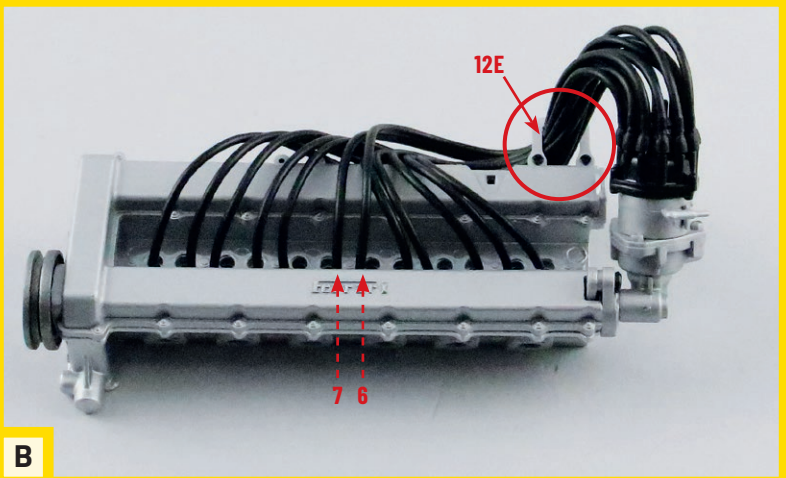
B：**12E**を通して、10番目のピペットから8番目のプラグに接続する。





5





5. **A**：最後に、**11F** から長さ115㎜に2本のケーブルを切り出す。

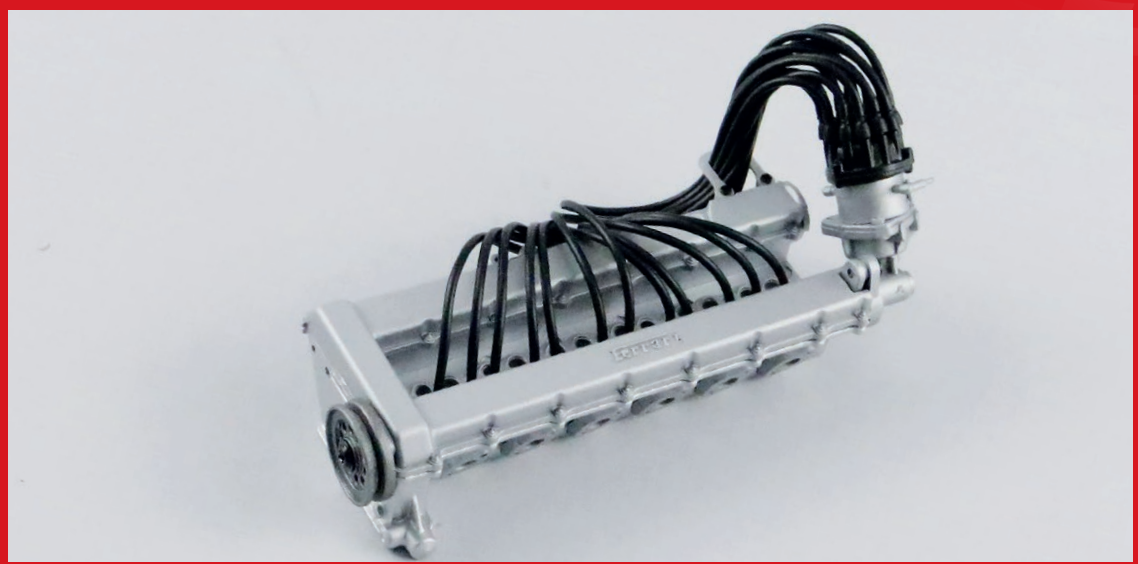
B：11番目と12番目のプラグに装着し、**12E** ケーブルパスを通して、それぞれ7番目と6番目のプラグに接続する。

スパークプラグケーブル接続リスト

ピペット	プラグ	ケーブルの長さ
1	1	100 mm
2	2	100 mm
3	3	100 mm
4	4	100 mm
5	5	100 mm
6	12	135 mm
7	11	130 mm
8	10	130 mm
9	9	130 mm
10	8	125 mm
11	7	115 mm
12	6	115 mm

組み立て結果

※本ステージ提供のパーツは、後のステージで使用するので、大切に保管しておこう。

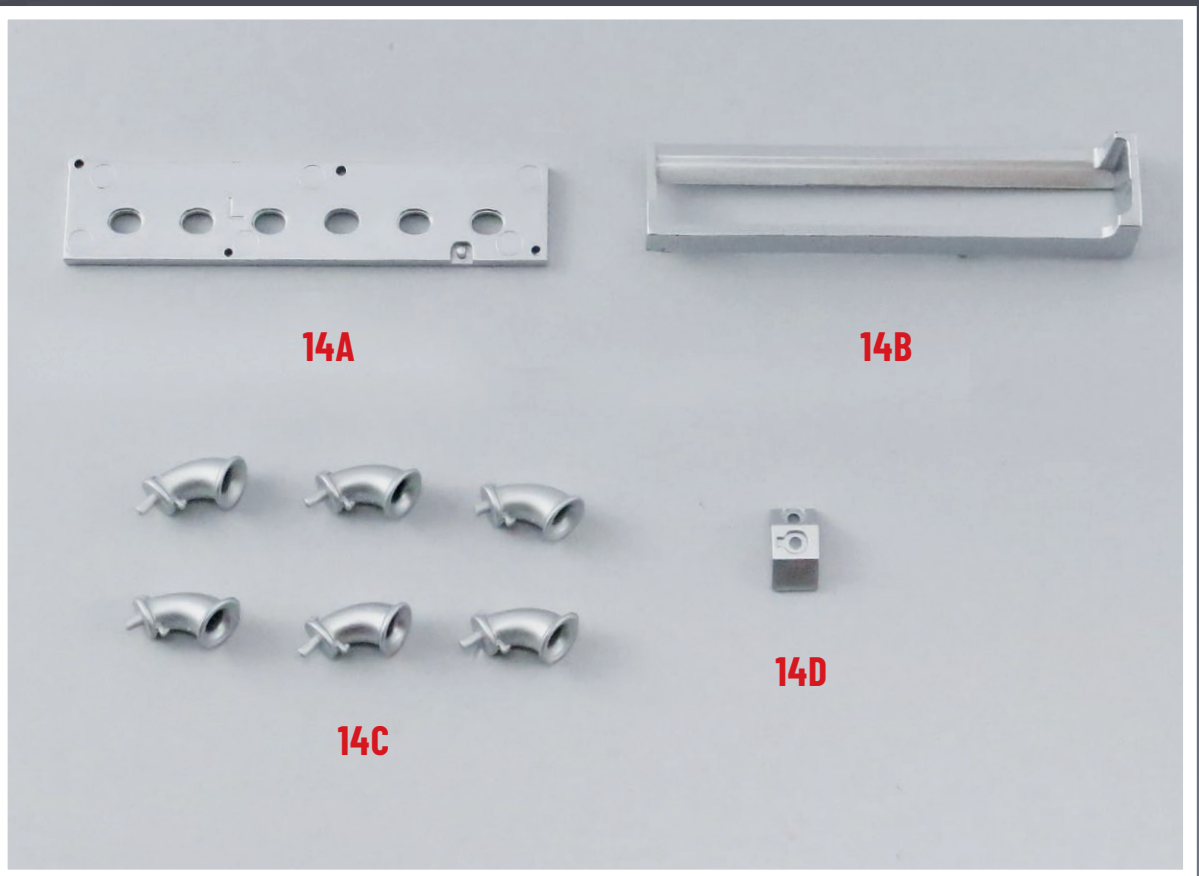


左エンジンヘッドがここまで組みあがった。



STAGE 14

吸引システムとタンクサポート



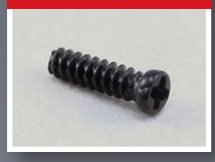
パーツリスト

14A 吸気用トランペットベース
14B 吸気用ボックス
14C 吸気用トランペット
14D 中央タンクサポート

ネジ類

LP 1.4×5㎜ ネジ2本（＋予備）

LP ネジ2本

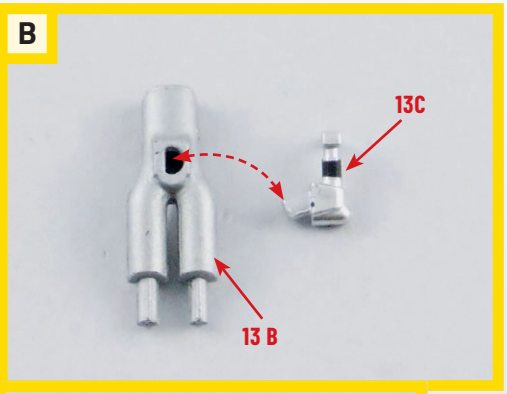


注：「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

Ferrari 330 P4

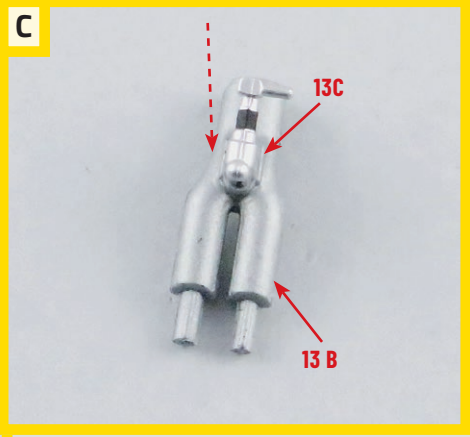


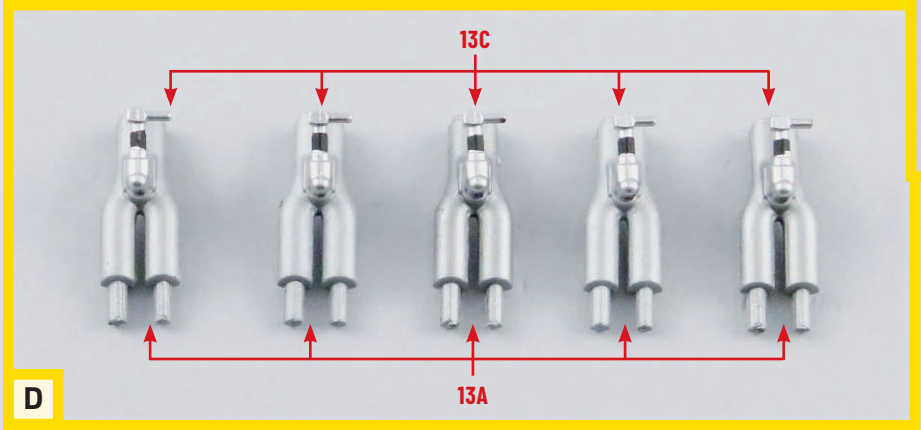


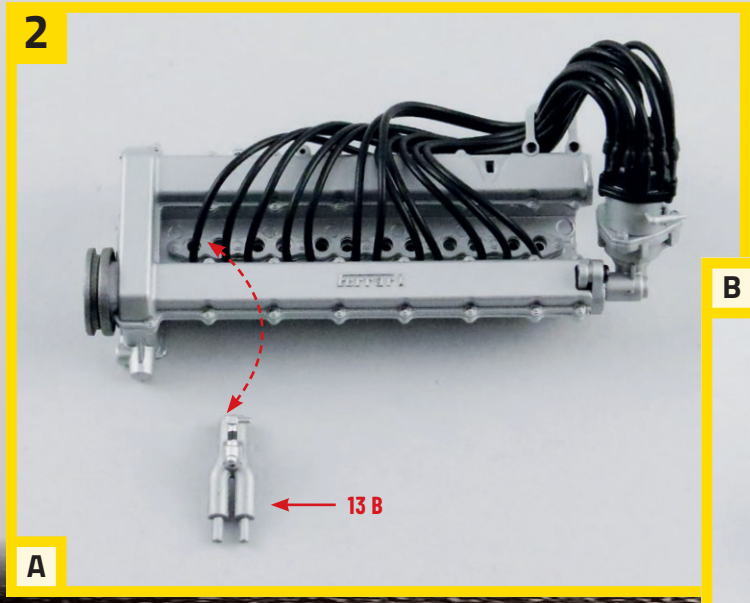
1. **A**：インジェクター**13C**をランナーから1個を切り外す。

B：L1型吸気マニホールド**13B**を用意する。　**C**：**13B**にはめ込む。

D：残り5個の**13C**も同様に切り外し、それぞれをL型吸気マニホールド**13A**に取り付けていく。

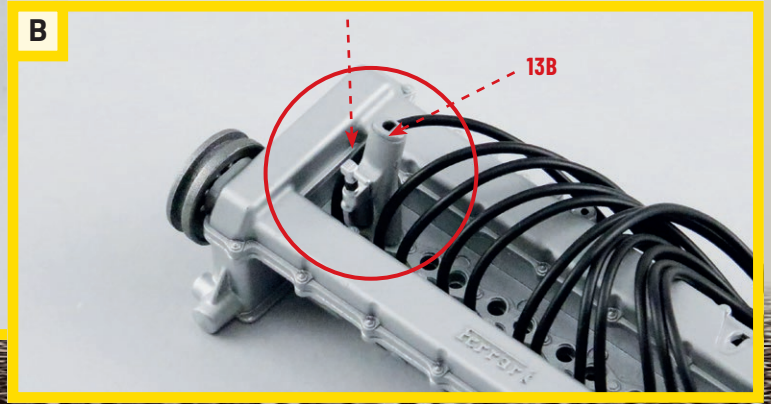




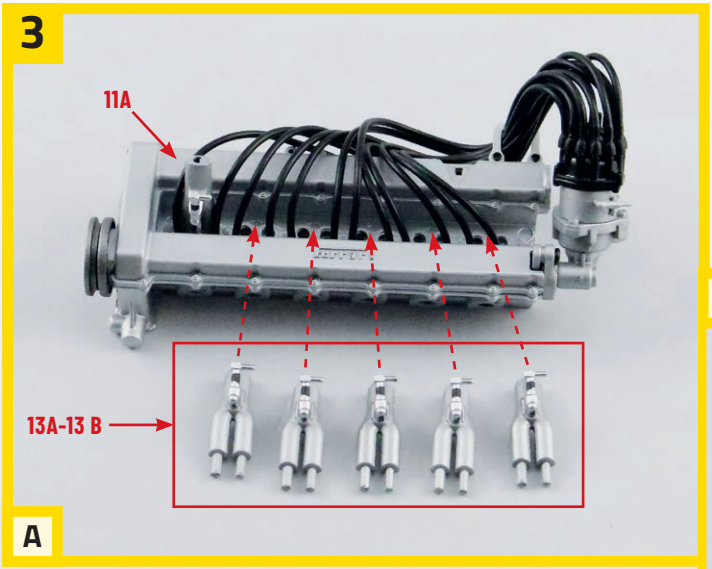


2. **A**：**STAGE12**で組みたてた左エンジンヘッドを用意する。内部に**13B**を取り付ける。

B：写真のように向きを調整しながら、スパークプラグ11と12の間に配置する。

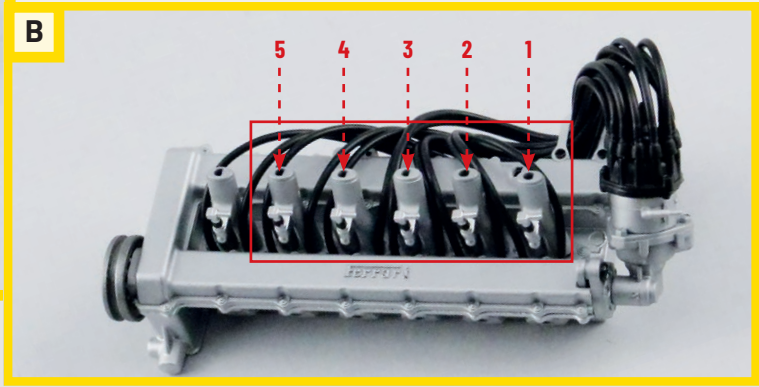






3. **A**：5個の**13A**を、写真のように**11A**内側に取り付ける。

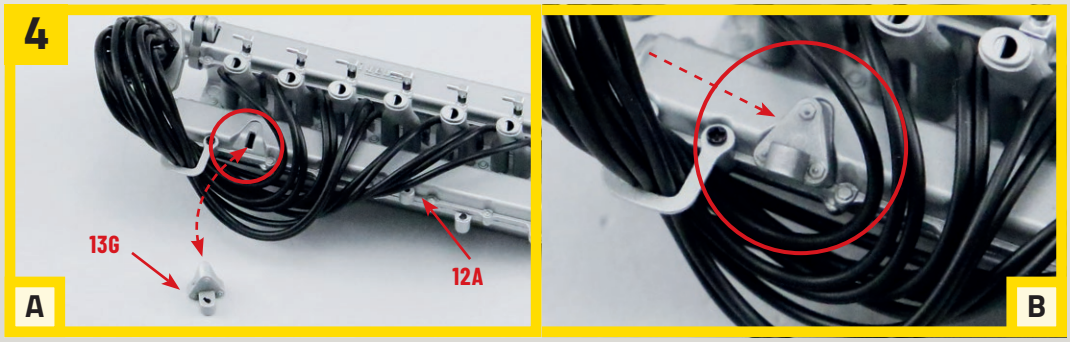
B：最初のコレクターをスパークプラグ1と2のケーブルの間に、2番目をスパークプラグ3と4のケーブルの間に、3番目をスパークプラグ5と6のケーブルの間に、4番目をスパークプラグ7と8のケーブルの間に、5番目をスパークプラグ9と10のケーブルの間に配置する。

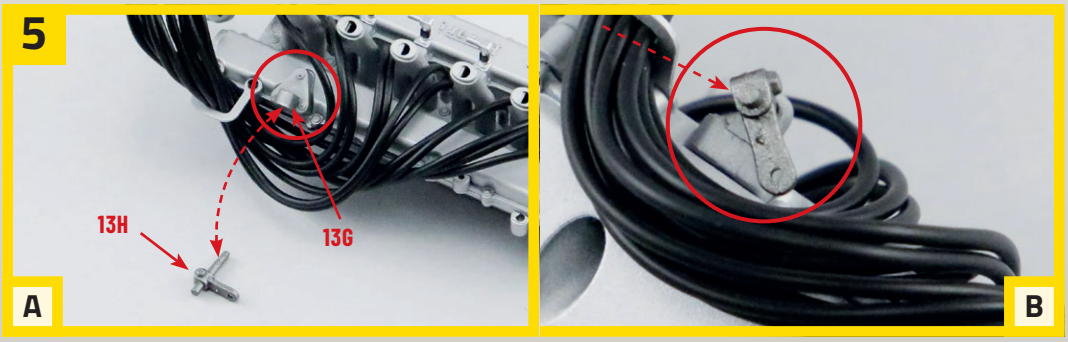


4.

A：バタフライ／ポンプサポート**13G**のサポートを、**12A**にある専用ハウジングに固定する。

B：位置を確認しよう。





5.

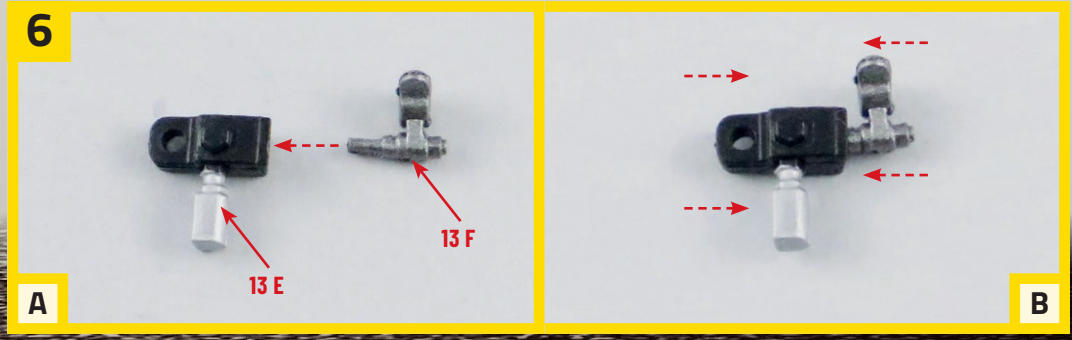
A：レバー**13H**のピンを**13G**の穴に挿入する。

B：写真のように向きを合わせよう。

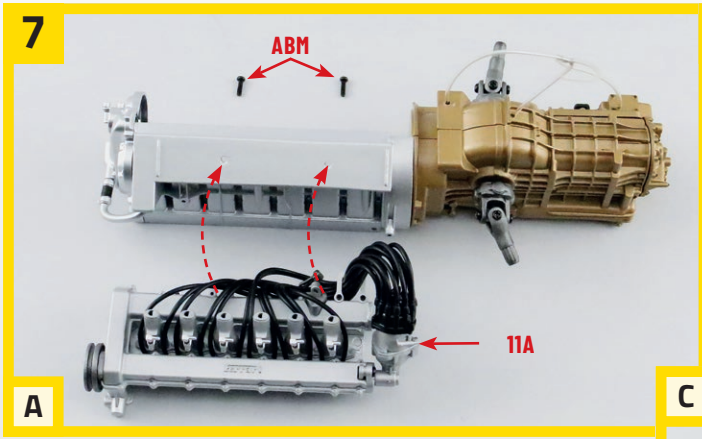
6.

A：ジョイント制御ベース**13E**とジョイント**13F**を用意する。

B：写真のように結合する。



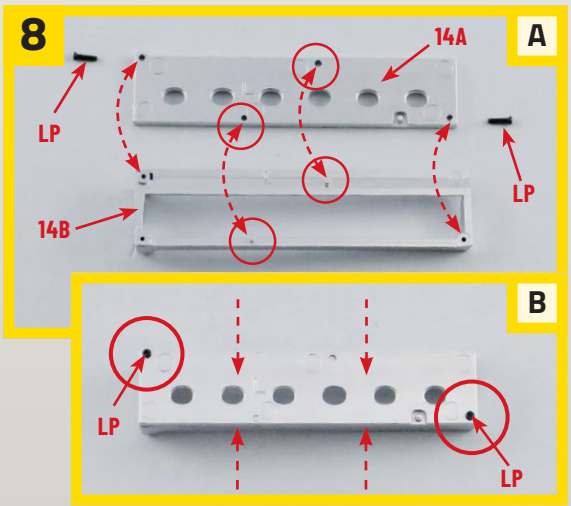




7. **A**：**STAGE5**で組み立てたギアボックス付きエンジンブロックとエンジン左側ヘッド**11A**、2本の**ABM**ネジを用意する。

B：**11A**をギアボックス付きエンジンブロックに配置する。

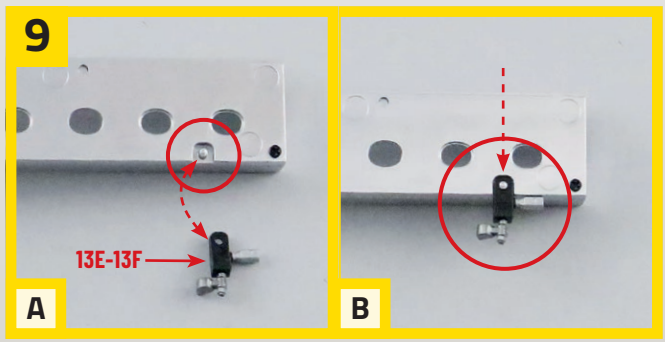
C：2本の**ABM**ネジで固定する。



8.

A：吸気用トランペットベース**14A**と吸気用ボックス**14B**、**LP**ネジ2本を用意する。

B：**14A**を**14B**に押し込み、**LP**ネジ2本で固定する。

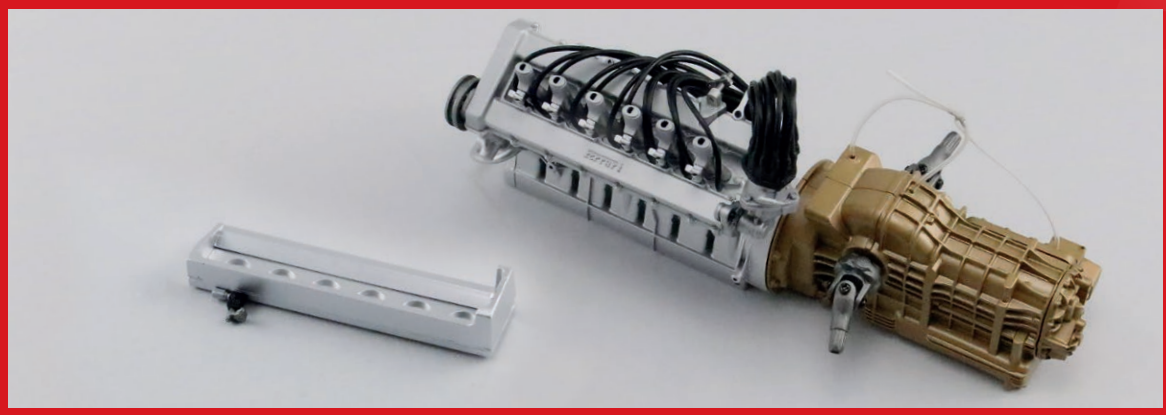


9. **A**：**6**で組み合わせた**13E-13F**を用意する。

B：写真で示した**14A**のピンに差し込む。

組み立て結果

※インジェクターチューブ**13D**、スプリング**13I**と、吸気用トランペット**14C**、中央タンクサポート**14D**は後の**STAGE**で使用するので、無くさないように大切に保管しておく。



左ヘッドエンジンにギアボックスが組み込まれた。



STAGE 15

タンクとマニホールド



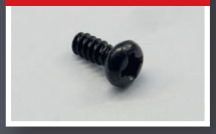
パーツリスト

15A スリーブ 1
15B スリーブ 2
15C スリーブ 3
15D タンク上部
15E タンク下部
15F タンクキャップ
15G タンクキャップ接続部
15H ベントパイプ
15I レバー
15J タンクバルブ本体
15K プレート

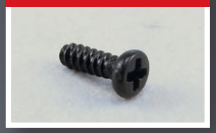
ネジ類

AP 1.7×4㎜ネジ4本(+予備)
KP 1.4×4㎜ネジ2本(+予備)
MP 1.2×3㎜ネジ2本(+予備)
BM 1.7×5㎜ネジ4本(+予備)
SM 1.7×3㎜ネジ2本(+予備)

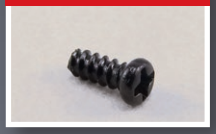
AP ネジ4本



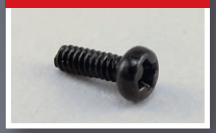
KP ネジ2本



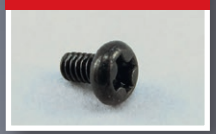
MP ネジ2本



BM ネジ4本



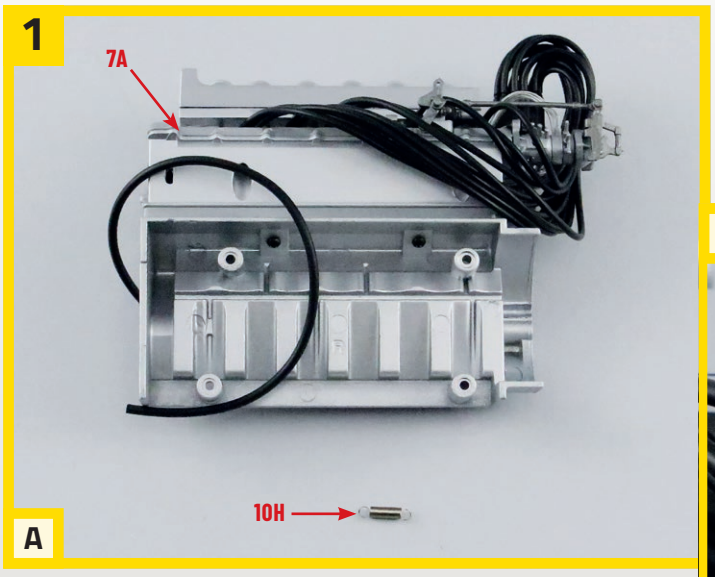
SM ネジ2本



注:「組み立てガイド」に掲載されているパーツの外観は、本シリーズで実際に付属するパーツとは細部が異なる場合があります。

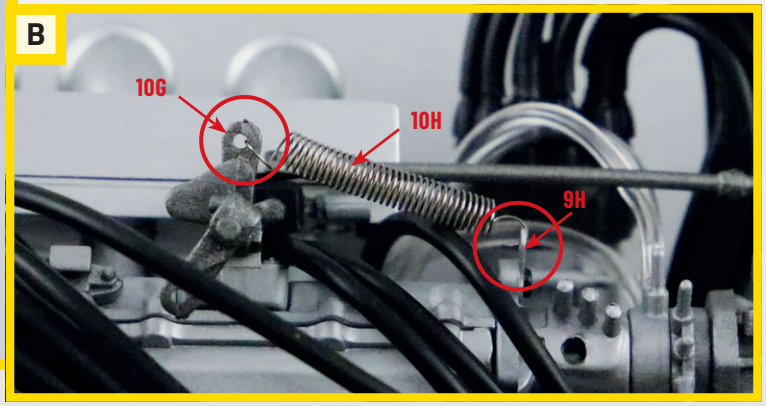
※ネジの本数表記には、予備数は含まれておりません。

Ferrari 330 P4



1. **A**：**STAGE10**で保管しておいた**10H**と、これまでに組み立てた**7A**を用意する。

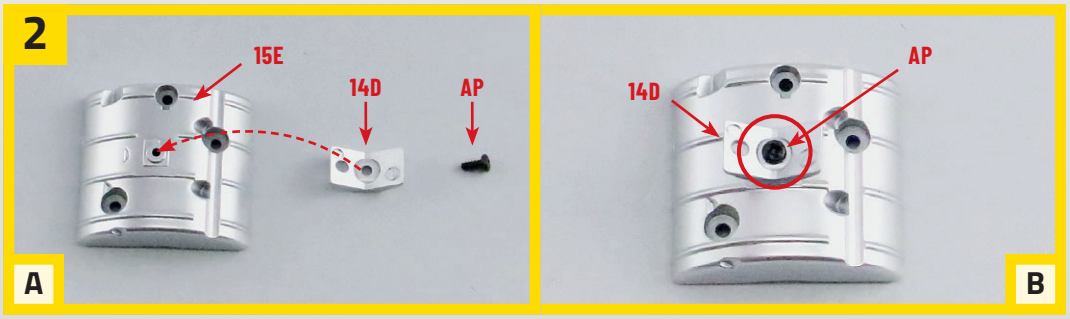
B：バネの両端を**10G**の上部穴とプレート**9H**の穴に固定する。



2.

A：タンク下部**15E**、中央タンクサポート**14D**、**AP**ネジを用意する。

B：**14D**を**15E**中央の穴に合わせ、フィンを上向きにして配置し、**AP**ネジで固定する。





3.

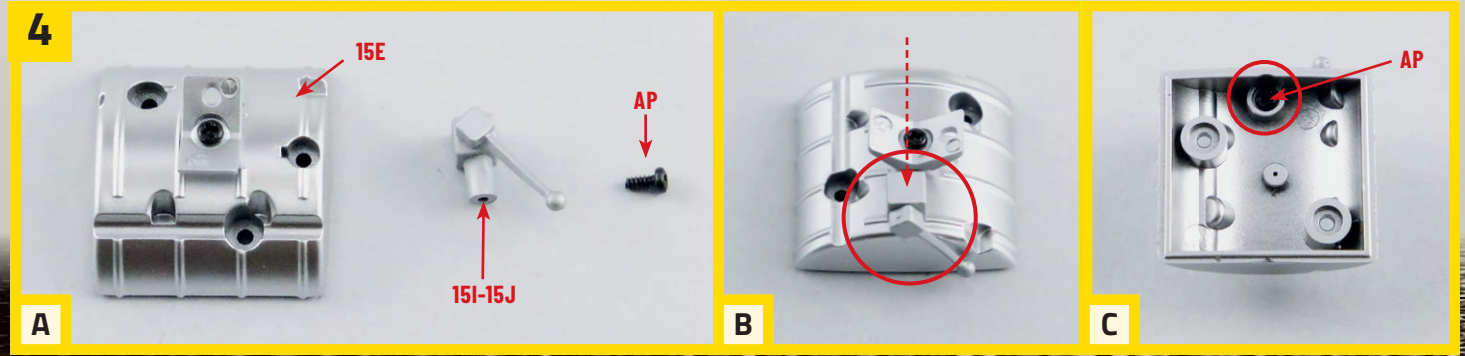
A：レバー**15I**とタンクバルブ本体**15J**を用意する。

B：前者**15I**のピンを**15J**の穴に挿入して組み立てる。

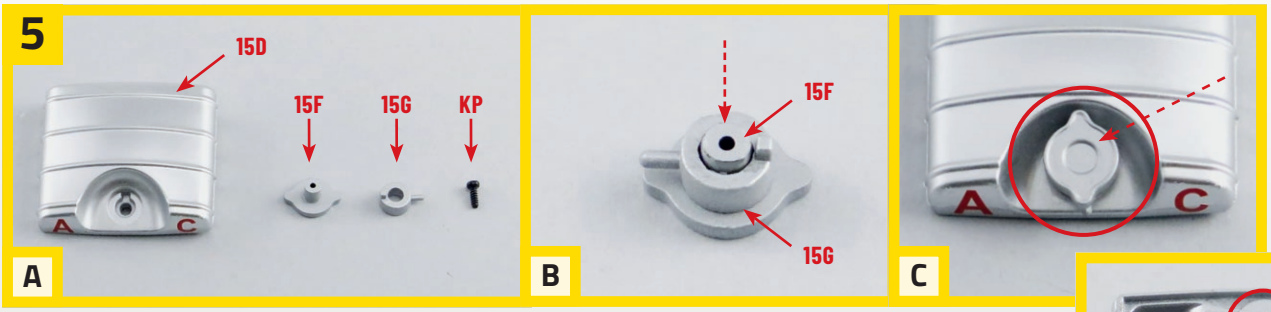
4. **A**：**1**～**3**で組み立てたパーツと**AP**ネジを用意する。

B：**15J**の円筒部をタンク縁にある穴に挿入する。（写真）

C：タンク内側から**AP**ネジを締めて固定する。





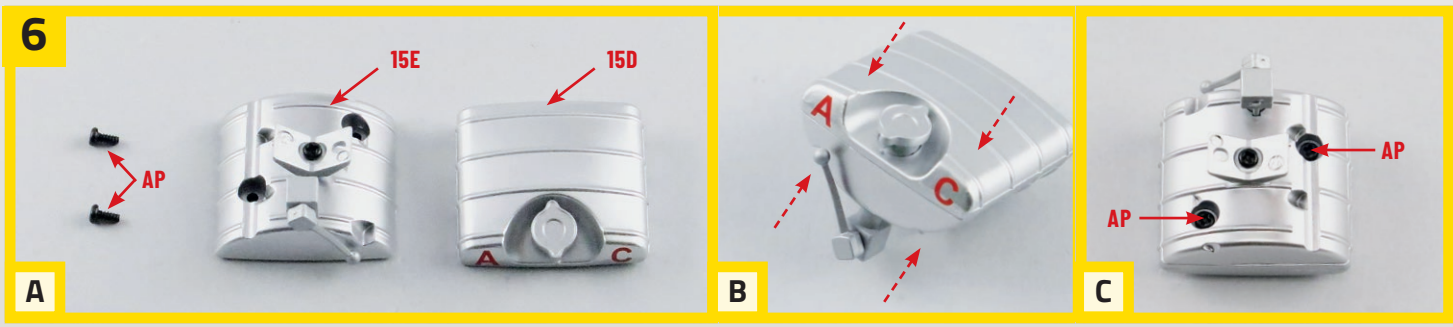


5. **A**：タンク上部**15D**、タンクキャップ**15F**、タンクキャップ接続部**15G**、ネジ**KP**を用意する。

B：**15F**を**15G**に挿入し、写真のように向きを合わせる。

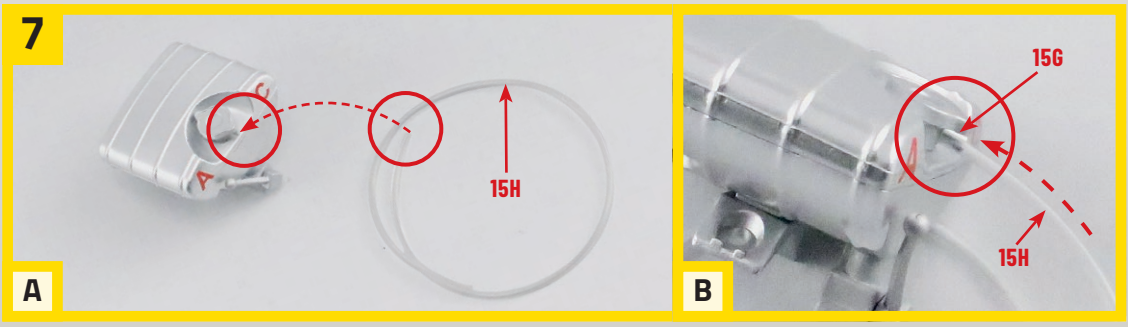
C：タンクキャップを**15D**外側の受け口に挿入する。

D：内側から**KP**ネジで固定する。



6. **A**：タンク上部**15D**とタンク下部**15E**、2本の**AP**ネジを用意する。

B：タンクの2つのパーツを押し合わせて結合する。　**C**：2本のネジで固定する。



7.

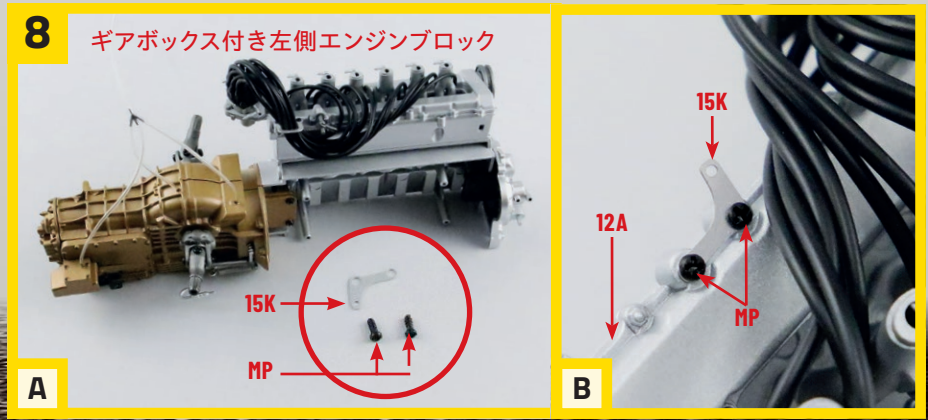
A：ベントパイプ**15H**を用意する。

B：**15G**のピンに**15H**の一端を差し込む。

8.

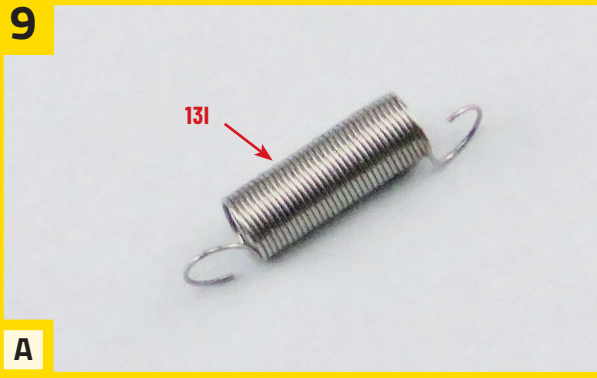
A：ギアボックス付き左側エンジンブロック、プレート**15K**と2本の**MP**ネジを用意する。

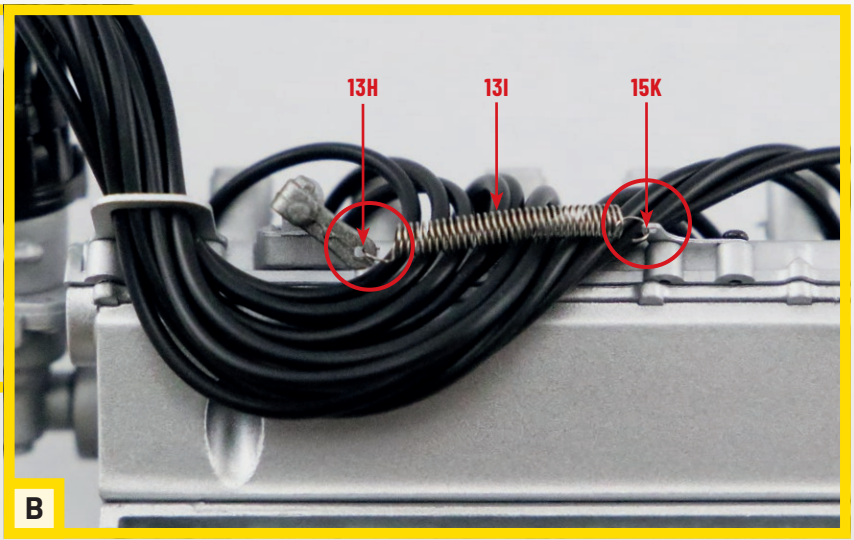
B：**15K**を、**12A**カバー縁にある2つの穴の位置に合わせ、L字部分がディストリビューターソケット側を向くように配置しする。2本の**MP**ネジで固定する。





9

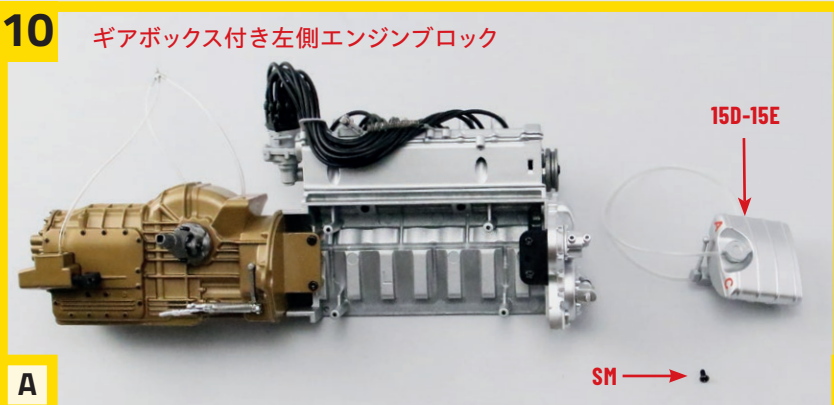


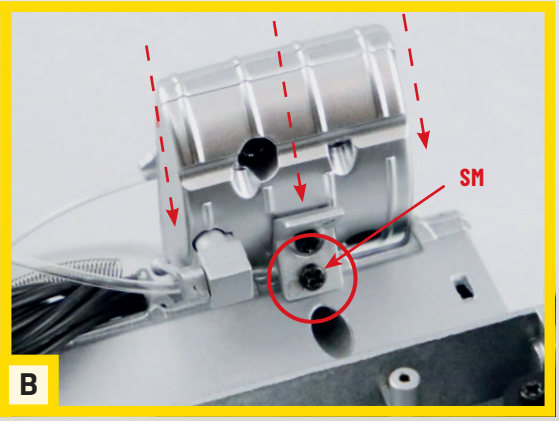


9. **A**：スプリング**13I**を用意する。

B：両端を**15K**の穴と**13H**の穴に挿入する。

10



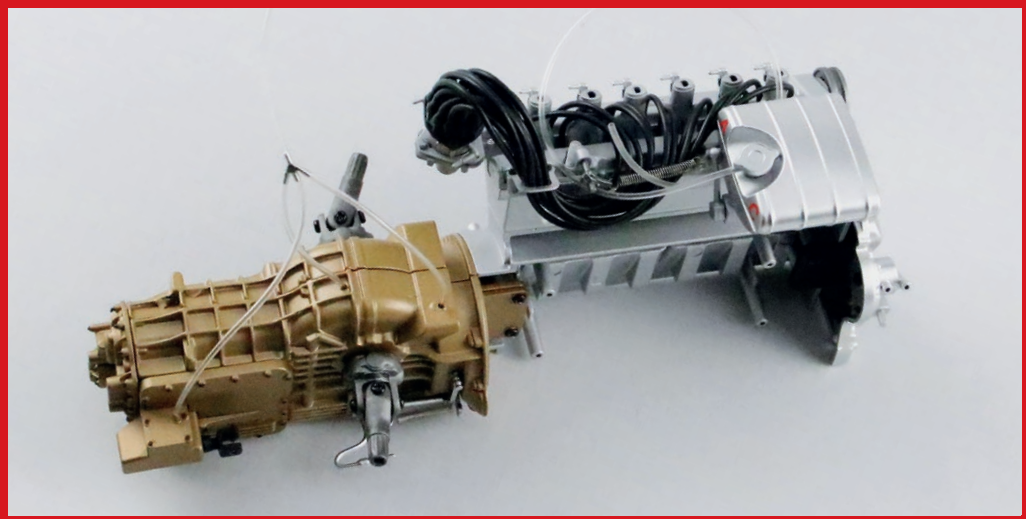


10. **A**：ギアボックス付き左側エンジンブロック、タンク**15D-15E**、**SM**ネジを用意する。

B：タンクをエンジン左側ヘッド内側の縁に、キャップがディストリビューターソケット側を向くように配置し、**SM**ネジで固定する。

組み立て結果

※**15A**～**C**のスリーブ3種とBMネジは、後のステージで使用するので、無くさないように保管しておこう。



ギアボックスと左エンジンブロックがここまで仕上がった。